

ニュース

街の変化をカメラレポート

子飼橋の架け替え工事着々

15年度4車線供用へ

子飼新大江線



架け替え工事が進む子飼橋。新橋梁の橋脚はほぼ完成している

熊本市は供用開始から50年余りが経った子飼橋の架け替え工事を進めている。現在の子飼橋の西側（下流側）に新しい橋梁を建設するもので、2005年度に事業着手した。

同橋の架け替えは都市計画道路・子飼新大江線の整備の一環で、事業区間は中央区東子飼町1丁目大江1丁目の490メートル。橋梁区間を4車線化することで交通混雑解消を図るとともに、歩行者・自転車の安全性確保のために歩道を拡幅する。事業費は約68億円。新橋梁は橋長134メートル、幅員27メートル。今年度は下部工の建設を終え、下流側の上部工事などに着手する計画。13年度中に暫定2車線（下流側）で部分供用を目指している。その後、現子飼橋を解体し、上流側の2車線を整備する。4車線の新子飼橋が完全供用となるのは15年度になる見通し。



▶新子飼橋の完成予想図（注：同図と完成形では、歩道の形態・色、橋脚の形状などに違いがある）

中心市街地の駐輪場を有料化

熊本市



▲下通りアーケードにほど近い民営駐輪場。パースト24では熊本市中心市街地に11カ所の駐輪場を開設した



▲民営駐輪場11カ所を監視するパースト24の「まちなか駐輪場サポートセンター」。通称駕町通り沿いにあり、駐輪場でのトラブルなどに対応する



▶料金所などが新設された熊本市役所南側の熊本市営駐輪場

熊本市は放置自転車の解消などを目的に5月21日から中心市街地を自転車放置禁止区域にし、駐輪場の不足を補うため6月1日から7エリア（並木坂、上通り、水道町、手取、銀座通り、新市街、辛島）に駐輪場を新たに整備、既存の市営駐輪場とともに有料化した。

民営駐輪場の名称は「くまもとまちなか駐輪場」。公募で選ばれた駐輪場運営・管理の（株）パースト24（同市中央区紺屋今町）が、新たに整備した「草葉第1」「銀座通り」など11カ所の駐輪場を運営する。中心市街地の収容台数は市営・民営合わせて自転車5244台、原付バイク1360台となった。利用料金は自転車と125cc以下の原付バイクは2時間無料で、以降は入庫から4時間経過ごとに100円加算など。125cc超の自動二輪車は入庫から2時間までごとに100円加算。一部カ所で定期利用もできる。